



なかてっこ

令和8年(2026年)
1月8日 1月号
豊中市立中豊島小学校
校長 野坂 昭紀



明けまして おめでとうございます

3学期が始まり、子どもたちが元気に登校しました。冬休み中、保護者の皆様方が子どもたちをしっかりと見守っていただいたおかげと、心より感謝申し上げます。今年も子どもたちの健やかな成長のために、保護者の皆様や地域の皆様と協力して、心と体の健康を守りながら、成長を支えていきたいと考えています。今後も、学校としての大切な役割を果たすため、職員一同努力してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

さて、3学期が始まりましたが、インフルエンザ感染症には今後も注意が必要です。本校でも、11月・12月にインフルエンザ様疾患による学級休業がありました。例年、流行期となる1月・2月も特に気をつけなければならないと考えております。子どもたちの学校生活においては、感染防止対策として「換気」と「手洗い」を徹底してまいります。教室の換気は非常に有効であり、また共有物を触った後や給食前に石けんで正しく手洗いすることで、手についたウイルスを洗い流し、体内への侵入を防ぐことができます。これはインフルエンザや新型コロナウイルスなど、さまざまな感染症に有効とされています。

引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1・2月の生活目標 「寒さに負けずに元気にすごそう」

寒さが一段と厳しくなる季節ですが、体をしっかり動かし、元気に毎日を過ごしてほしいと思います。寒いと、ついポケットに手を入れて歩いてしまう人も見られますが、手が使えない状態では、転んだときに大きなけがにつながる可能性があります。寒い日でも、ポケットに手を入れたまま歩くことはやめ、手袋を着用したり、体を動かしたりして工夫しましょう。

また、朝の登校で出会う見守り隊の方たちや先生とあいさつをするときも、手をポケットに入れたままではなく、相手の顔を見て、気持ちのよいあいさつができるよう心がけてほしいと思います。一人一人が安全とマナーを意識し、寒さに負けない健康な生活を送っていきましょう。

児童からの手紙に学ぶ、あいさつの大切さ (2学期終業式での話より)

2学期の終わり頃、2年生の児童数名から、あいさつについて書かれた心温まるお手紙が届きました。手紙には、

- 「校門であいさつをしている校長先生を見て、あいさつをすると毎日が楽しくなることに気づきました。」
- 「毎朝のあいさつで、気持ちがよくなります。」
- 「毎朝のあいさつ、ありがとうございます。じゅぎょうを見に来てくれるのが、うれしいです。」

といった、素直でやさしい言葉が綴られていました。

これらの手紙を読んで、とてもうれしく思いました。なぜなら、どの手紙にも、あいさつを通して、人との関わり大切さや気持ちが明るくなることへの気づきが、子どもたち自身の言葉で表されていたからです。あいさつは、ただ「おはよう」と言うだけのこともありません。しかし、その一言で、相手も自分も笑顔になり、気持ちが明るくなります。そして、あいさつをすることで、毎日の学校生活が少しずつ楽しいものになっていくのだと思います。

これらの手紙は、国語科の単元「ありがとうをつたえよう」の学習の中で書かれたものだそうです。学習を通して自分の気持ちを言葉にし、相手に伝えることの大切さを子どもたちはしっかりと学んでいるなと感じました。

本校では、「元気にあいさつをしよう」を生活目標の一つに掲げています。今回の出来事は、その目標が子どもたちの心に根付き、日々の行動へとつながっていることを感じさせてくれる、うれしい出来事でした。

これからも児童一人ひとりが、気持ちのよいあいさつや言葉を交わしながら、楽しく温かい学校生活を送ってくれることを願っています。

3学期の主な予定

★6年お別れ校外学習	2/10(火)【予備日2/20(金)】
★授業参観(5限)・学級懇談(6限)	2/27(金)
★給食終了	3/16(月)
★卒業式	3/17(火)
★修了式	3/24(火)
※のびゆくこども(後期)配布	6年 3/16(月)
	1~5年 3/24(火)

1月の行事予定は、「なかてっこ冬休み号」に掲載しています。